



しかた松男議員が府議会で一般質問

しかた松男議員(城東区選出)は9月定例府議会で一般質問(12月18日)に立ち、自転車の安全対策や、増加する不登校児童生徒への対応などについて質問しました。

〈しかた 松男〉
しかた まつお

昭和37年3月5日生まれ。大阪府議会議員1期目、商工労働常任委員。自民党城東区第三支部長、自民党府連財務副委員長、保護司、社会福祉協議会役員、城東地車聯合会長、府立港高校後援会会長、ヘルパー2級、一般財団法人親学推進協会親学アドバイザー。
<http://www.m-shikata.jp/>

兵庫県では自転車保険への加入義務も検討、府の取り組みは？

Q. しかた議員 一般的な自転車保険(個人賠償責任保険と傷害保険がセット)は、自動車保険等の特約に自転車事故に関する補償がついている場合もあるが、なかなか知られていない。兵庫県では自転車保険への加入を義務付ける、条例の制定なども検討しているようだが、府内における自転車賠償保険普及への取り組みは。

A. 都市整備部長 大阪府交通対策協議会では「自転車安全利用推進のための重点行動指針」(平成25年に策定)に基づき、自転車の安全対策と併せ、自転車賠償保険の加入促進にも取り組んできた。自転車事故による損害賠償事例を基にした短編動画のインターネットなどでの公開や自転車販売店による保険加入の案内などを通じて、保険への加入の必要性をPRしている。

自転車賠償保険の加入状況は？

Q. しかた議員 取り組みを効果的に推進するためには、現状を十分に把握しておく必要がある。府内における自転車賠償保険の加入状況を把握しているのか。

A. 都市整備部長 特約も含めた全ての自転車賠償保険の加入率の把握はしていない。実効性の高い対策を講じていくためには、他の保険の特約も含めた加入状況の把握が必要となるため、今後、府民を対象にアンケート調査を実施し、現状把握や課題抽出を行っていく。

自転車の安全対策

府内における 自転車賠償保険の 普及促進の取り組みについて

大阪府は人口当たりの自転車普及率が埼玉県に次ぐ全国2位(「大阪府交通対策協議会」資料より)の自転車王国だが、自転車による事故も高い頻度で発生しており、**自転車事故率も東京に次いで全国2位**という憂慮すべき状況にある。自転車が加害者となる高額賠償事故^(※)などの事態を回避するために、有効な手段である自転車賠償保険加入への取り組みについて質問した。

(※兵庫県では小学生が運転する自転車と歩行者との衝突事故に関する訴訟において、小学生の保護者が管理監督責任を果たしていなかったとして、保護者に9,500万円の賠償を命じる判決が出された。)

しかた議員 要望

啓発に重きを置いた取り組みのままでは限界があり、保険加入が普及していくとは到底思えません。兵庫県の自転車保険の加入義務化など、他府県の条例や施策など先進的な事例を参考に、今後、条例化に向けて真剣に取り組んでいくことを要望します。

不登校対策

増加する不登校

児童生徒への対応について

府の不登校児童生徒数は、平成25年度は、公立学校で小学校が1,859人、中学校が7,639人で前年度より小学校が333人、中学校が544人増加。府立高校は、5,209人で342人減少したが、特に小中学校での増加は、著しい(文部科学省・平成25年度の問題行動調査より)。不登校者の総数は中学校が多い一方、前年度からの増加率は小学校が高い。増える状況にある不登校児童について、府の対応を質問した。

不登校児童生徒数

上段:人数 下段:(千人率)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
小学校	府公立	1,462 (3.0)	1,559 (3.2)	1,535 (3.2)	1,526 (3.3)	1,859 (4.1)
	全国	22,189 (3.2)	22,303 (3.2)	22,442 (3.3)	21,067 (3.2)	23,982 (3.7)
中学校	府公立	7,050 (31.8)	6,956 (31.2)	7,000 (30.7)	7,095 (31.1)	7,639 (33.5)
	全国	97,012 (29.3)	94,181 (28.8)	91,597 (27.9)	88,239 (27.0)	91,802 (28.2)
高等学校	府立	4,087 (34.6)	4,821 (39.1)	5,227 (42.4)	5,551 (45.2)	5,209 (43.5)
	全国	39,706 (16.7)	40,955 (18.4)	43,969 (18.8)	45,080 (19.3)	43,181 (18.8)

不登校児童生徒への早期対応が重要、取り組みを問う

Q. しかた議員

文部科学省が実施した平成18年度の不登校生徒に対する追跡調査の結果によると、不登校児童生徒は、いったん不登校が長期化すると学校への復帰が困難になり、早期対応が重要であるとの分析がされている。**依然厳しい状況にある不登校児童生徒数**について、府はどう対応するのか、教育長の所見を問う。

A. 教育長

府教育委員会では不登校児童への早期対応に向け、府立高校及び市町村教育委員会に対し、指導・助言をしている。欠席がちになれば家庭訪問を行い、原因を把握する。欠席が継続すればスクールカウンセラーを活用し、チームとして指導・支援を行うなど、状況や具体的な支援内容を情報共有しながら、児童生徒の居場所づくりと学校復帰に努めている。今後は、魅力ある授業づくりや豊かな人間関係づくりなどにより、学校が児童生徒にとって学び合い、絆を深めあえる場となるよう府立学校等へ働きかけていく。

しかた議員 要望

教師は生徒との触れ合いをもっと大事にすべきです。「なんでも相談してな」と声をかけるような子供の関係を大事にする教師の存在が必要です。生徒が先生を好きになり、学校を好きになれば、学力も上がり、不登校も少なくなると思います。また、私の経験から言うと、大人が子供にきちんと向き合えば、子どもは変わります。地域には、面倒見のいいおじさん、おばさんがいます。今後、**地域の人材の活用方法**も併せて考えるよう要望します。

交番設置とパトロール強化継続

城東区内の交番のない
放出西地区・鯉江東地区・董地区・成育地区
住民のしんしな願いをくんで**交番の設置**と
警察官による**パトロール強化の継続**を!

しかた議員 要望

私の地元、城東区の放出西地区・鯉江東地区・董地区・成育地区には交番がなく、それぞれの地区の方々から、交番の設置を求める声が幾度となく寄せられています。中には過去に交番が廃止され、最近では大型娯楽施設ができたり、市営住宅や学校が密集する地区があるなど、地域環境の変化に対して安全面で不安を感じている地域もあります。従来から、パトカーや交番の警察官によって巡回を行っていただいておりますが、さらに地域の皆様が安心して暮らせるまちを確立するためには、地域の安全を見守る交番の存在が必要です。交番の設置が大変困難であることはよく理解していますが、設置を望むこれら地域の方々の思いをご理解いただき、交番設置を要望します。また、警察官の頼もしい姿に地域住民も大変心強く、引き続き、パトロールの強化もお願いいたします。

